

代表質問

新市建設計画 について



市民クラブ
熊谷 実 議員

質問 合併協定書との整合性をどう考えているのか。

市長 見直しは検討委員会の結果を待ちたい。地域要諦であり、調整しながら進めたい。

質問 新市建設計画変更の説明責任は市長にある。

市長 できるだけ説明にまいたい。

組織機構改革の考え方は

質問 推進室や対策室設置の目的は。

市長 重点施策を実行に移すためのプロジェクト的なもの。結果を見て解散や課への発展もある。

質問 人材育成の取組みはどのように考えるか。

市長 総務課で人材育成計画を立てている。

産業育成をどう考える

質問 基幹産業である農業と観光対策は。

市長 地産地消の推進をはかり、農家と観光業者との連携を進めていきたい。

質問 海洋深層水の非水産分野での利活用は。

市長

製造業や農業など、島内外において、多方面で利用されている。



独自性に満ちた 佐渡市を目指して



公明党
本間千佳子 議員

質問 人が地域をつくり、地域が人を支える、明るい地域づくりに挑戦する姿が様々な型で見られるようになった。佐渡全体が自分の地域を知り、知恵と工夫の独自性に満ちた活気ある地域づくりを希望するが。

市長 地域独自で行っている「村展」だけでなく、関係課でも検討する。以前両津であった「チャレンジ事業」を佐渡市に広げ、募集をかける。地域おこしは応援する考えでいる。

質問 男女共同参画社会の推進は社会構築であり、男女共同の住民参加は「財政再建」につながるかと考えるが。

住民参画施策で 手応えの地域づくりを

市長 市民が佐渡の将来を考え、積極的に行政活動に参加する事は、にぎわいの島づくりになる柱と考えている。審議会など民間の方々の貴重な意見をいただいて参考になっている。行政が選出する女性委員を3割確保していく方針である。平成17年度から「市民参加推進室」を設置して、皆様の要望に答え、旧市町村単位でのタウンミーティングを始める考えでいる。

